

第4学年 総合的な学習 学習指導案

児童 男子18名 女子16名 計34名

指導者 岩崎 乃梨子

場所 八幡公民館

1 単元名 お年よりとなかよしになろう

2 単元について

本単元は、地域に住むお年よりとの交流を通して、地域の伝統や文化、歴史などを学ぶとともに、交流の輪を広げ、深めていくことをねらいとして設定した。学級の子どもの2/3が祖父母と同居しており、日中は祖父母と過ごすことが多いものの、近所に住む人、特に一人暮らしのお年よりとは接点が少ないのが現状である。例年、八幡地区福祉まちづくり協議会が主催する給食サービスのうち、1回を小学生との交流に割り当てていただき、交流の場としている。この機会をとらえ、お年よりに自分達の様子を伝えたり思いやりをもって人と接したりすることの大切さを体験的に学ばせたい。

子ども達は、3年生で養護老人ホーム宝寿荘を訪問した。歌や音読の発表だけでなく、インタビューや肩たたき等のふれあいも体験し、お年よりの温かさを感じることができた。また、「めざせ名人」では、八幡地区のお年よりを講師に木工と料理に取り組み、その技の巧みさに感激した。近所のお年よりについては、あいさつする程度で、名前は知っていてもほとんど話したことがないという子が多いものの、知り合う機会さえあれば、進んで交流したいと思っている。中には、遊びに行きたいという子もいる。この学習をきっかけにして、地域に住む人に進んで声をかけ、人と人とのつながりを広げようとする態度を育てたい。

指導にあたっては、まず、昨年のビデオから交流会のイメージをもたせ、自分達がお年よりを招き喜んでいただくという意識で計画を立てさせたい。次に、交流会では、歌の発表や自己紹介、新石鳥谷音頭、ジャンケンゲームなどをする中で、積極的に話しかけ思いやりの心で接し、お年よりと仲良く交流させていきたい。そして、交流会で知り合ったお年よりにインタビューしたり、手紙を書いたりする活動を通して、さらに親しみをもたせていきたい。また、知り合ったお年よりとのこれからのかかわり方を考えさせ、実行していこうとする気持ちをもたせたい。

3 単元の目標

(1)【課題設定の能力】

- ・学習したことや身近な人への聞き取りから、昔の生活の様子を調べるための課題を見つけることができる。
- ・「なかよし交流会」に興味をもち、その内容を考えようとすることができる。
- ・教師と相談しながら活動計画を立てることができる。
- ・知り合ったお年よりとのかかわり方を考えようとする。

(2)【課題解決の能力】

- ・聞き取りの内容を工夫して、調べることができる。
- ・家族以外のお年よりや町内の施設の方ともかかわり、昔の生活の様子を調べることができる。
- ・お年よりと一緒に楽しい時間を過ごすために、交流会の内容を考えたり練習したりすることができる。

(3)【情報活用能力】

- ・調べた結果を教師と相談しながら整理することができる。(年代ごと)
- ・町内の施設(歴史民族資料館・図書館など)を訪ね、館内を見たり係の人に聞いたりして資料を集めることができる。
- ・電話を使って、先方の都合を確かめることができる。
- ・パソコンなどを使って、招待状を作ることができる。

(4)【表現力】

- ・調べたことをもとに、カードや文章、手紙にまとめることができる。
- ・まとめたことをはっきりした大きな声で発表することができる。
- ・友達の発表のよいところを見つけながら、発表を聞くことができる。

4 単元の主な評価規準

平成16年度生活科・総合的な学習年間指導計画 4年 P5参照

5 指導計画(30時間)

平成16年度生活科・総合的な学習年間指導計画 4年 P5~7参照

本時 10・11/30

(交流会前後の指導も含めて2時間扱いのうち、本時は交流会の60分を実施)

6 本時の指導

(1)目標【課題解決の能力】

- ・進んでお年よりに話しかけ、お年よりとのかかわりを楽しむことができる。

(2)研究主題との関わり

課題設定段階(前時)

- ・学級全体や個人の交流のめあてを確かめ、お年よりと仲よくなろうとする気持ちを高める。
- ・交流会のリハーサルを想起させ、お年よりとのふれあいの時に気をつける点を確認する。また、学習シートを用いて、質問事項なども確認させる。
- ・交流会場へ向かう前に、再度、本時のめあてを確認し、成功のコールを行う。

学級全体の交流会のめあて

お年よりとなかよくなろう

ふり返りの段階(次時)

- ・交流会終了後、成功の喜びや感動を簡単に確かめ、成功のコールを行う。
- ・仲よくなったお年よりと もっと交流したいという気持ちをもたせるために、ふり返りカードで自己評価させてから交流会での感動や喜びを発表し合い、達成感を高める。
- ・社会科「昔調べ」の学習を想起させ、知り合ったお年よりからもお話を聞きたいという気持ちをもたせる。そのために、次の時間は、学習シートの整理をし礼状を書くことを知らせる。

(3) 展開

	学習内容と活動	教師の支援(・)評価()	資料等
活動する 60分	<p>1 はじめの言葉</p> <p>2 歌『ぼくのハーモニー』</p> <p>3 交流(1) 自己紹介 ・自己紹介カード(名刺)を持ち、進んでお年よりのもとへ行き自己紹介をする。</p> <p>4 発表 新石鳥谷音頭 ジャンケンゲーム など</p> <p>5 交流(2) 質問タイム 肩もみ など</p> <p>6 歌『もみじ』</p> <p>7 おわりの言葉 ・感想や楽しかったことをふまえながらお礼の言葉を述べる。</p>	<p>・事前に子ども達で作った名札をお年よりに渡し、つけていただく。</p> <p>・はじめのことばの中で、本時の全体のめあてについても簡単にふれさせる。</p> <p>・指揮者をよく見て、気持ちをこめて歌うよう練習しておく。</p> <p>・はずかしがって声をかけられないでいる場合、教師と一緒に声をかけ、次からは一人でもできるように励ます。</p> <p>進んでお年よりに話しかけ、お年よりとの関わりを楽しむことができる。 〔行動観察〕</p> <p>・お年よりにも一緒に歌っていただけよう声がけをする。</p> <p>・近くにいるお年よりにそれぞれが感想を言えるよう、感想の観点を事前に示しておく。</p>	名刺

(4) 評価

評価規準 【課題解決の能力】 〔方法〕	具体の評価規準		支 援
	十分満足		
<p>・進んでお年よりに話しかけ、お年よりのかかわりを楽しむことができる。 〔行動観察〕 (次時にふり返りカード)</p>	<p>・進んでお年よりに話しかけたり思いやりの心をもって接したりして、お年よりと仲良くなったと感ずることができる。</p>		<p>・お年よりに話しかけることで成立するようなゲームを企画し、話しかけることへの抵抗を減らす。</p>

資料

きらめきタイム
「お年よりとなかよしになろう」
学習シート

月 日
名前()

めあて
知り合ったお年よりとなかよくなるう。

お名前 地区名

質問 & お話し したこと	

きらめきタイム
「お年よりとなかよしになろう」
ふりかえりカード

月 日
名前()

- 1 進んでお年よりに話しかけることができましたか。
- 2 お年よりと仲よくなれるようにがんばりましたか。
- 3 交流会で知りあったお年よりとこれからしてみたいことや自分たちがお年よりにできそうなことを書きましょう。

単元の評価規準

	評価規準	評価の方法
課題設定の能力 (設)	<p>学習したことや身近な人への聞き取りから、昔の生活の様子を調べるための課題を見つけることができる。</p> <p>「なかよし交流会」に興味をもち、その内容を考えようとするすることができる。</p> <p>教師と相談しながら活動計画を立てることができる。</p> <p>知り合ったお年よりとのかかわり方を考えようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習シート ・行動観察 ・ふり返しカード
課題解決の能力 (解)	<p>聞き取り内容を工夫して調べることができる。</p> <p>家族以外のお年よりや町内の施設の方ともかかわり、昔の生活の様子を調べることができる。</p> <p>お年よりと一緒に楽しい時間を過ごすために、交流会の内容を考えたり練習したりすることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習シート ・行動観察 ・ふり返しカード
情報活用能力 (情)	<p>教師と相談しながら、調べた結果を整理することができる。(年代ごと)</p> <p>町内の施設(歴史民族資料館、図書館など)を訪ね、館内を見たり係の人に聞いたりして資料を集めることができる。</p> <p>パソコンを使って招待状を作ることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・学習シート ・パソコン操作の観察 ・ふり返しカード
表現力 (表)	<p>調べたことをもとに、カードや文章、手紙にまとめることができる。</p> <p>はっきりと大きな声で、まとめたことを発表することができる。</p> <p>友達の発表のよいところを見つけながら聞くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめのカード ・学習シート ・行動観察 ・作文 ・手紙 ・ふり返しカード

月	段階	時	学 習 内 容	具体の評価規準		支 援	備 考
				規準と の対応	十分満足		
10	課 出題 会に う	1	「なかよし交流会」を知り、どのよう な交流をしたいかを話し合う。	設	・お年よりとどのように仲良くな りたいか、その理由まで考 えることができる。	・交流会でお年よりが楽しそう に参加している様子をビデオ で見せ、交流会の価値を感じ させる。	
	課 い題 だを く	2	交流の内容を相談する。	設	・お年よりと仲良くなるための 交流の内容を進んで考える ことができる。	・3年での「宝寿荘訪問」や家族 の様子を想起させ、お年より に喜んでいただけるものを考 えさせる。	
	活 動 ・ 体 験 す る	3 4	交流会の準備をする。 ・自己紹介カード ・名札など	解	・小さな文字を読みにくくなっ ているお年よりに合わせた 文字の大きさや明暗のはっ きりとした色使いで自己紹 介カードなどを作ることが できる。	・お互いの顔と名前を覚えるた めという目的を明確にし、て いねいに作業させる。	
		5 6 7	交流会に向け、練習する。	解	・お年よりと楽しい時間を過ご せるように工夫しながら熱 心に練習することができる。	・1回ごとに練習の様子を反省 したり感想を交流したりし、 互いのよさやがんばりを認め 合わせる。	
	8 9	交流会の予行をする。 (八幡公民館)	解	・他のグループのよいところを 見つけながら発表を見るこ とができる。	・一緒に楽しむ時間という前提 を確認し、互いのよさやがん ばりに目を向けさせる。	申込必要 八幡公民館 45-3535	

		10 11	交流する。 ・自己紹介 ・歌など	表	・進んでお年よりに話しかけたりいつもより大きくゆっくりとした話し方で発表したりできる。	・お年よりに話しかけることで成立するようなゲームを企画し、話しかけることへの抵抗を減らす。	
	まとめ る	12 13	交流会で分かったことや感想をまとめる。 お出でになったお年よりに礼状を書く。	表	・交流会への感想を加えながら、読みやすい大きさや濃さでていねいに手紙を書くことができる。	・お年よりといっしょにして楽しかったことを発表させ、手紙の内容に見通しをもたせてから書かせる。	
11	課題を い だ く	14	生活用品の移り変わりで、より詳しく調べたいものを考える。 ・町や学校の様子、食べ物、遊びなど(2~3つ)	設	・家事、娯楽、服装などと多角的に考えることができる。	・社会科で学習したことを想起させ、その中から選ばせる。	社会科の発展 「昔の暮らし」 国語「一つの花」
		15 16	調べ方(目的、方法)を考える。 ・家族への聞き取り ・近所のお年よりへの聞き取りなど	設	・聞き取りで調べられる年代を考えながら、調べる計画を立てることができる。	・それぞれの方法で調べられる年代を確認させ、変化の様子が分かるように複数の対象を選ばせる。	
	活動 す る	休 日	(必要に応じて) 町内の施設(歴史民族資料館、図書館など)で資料を集める。	情			歴史民族資料館 45-4513 町立図書館 45-6882
		17 18	戦争前後の様子を知っている人として、「なかよし交流会」で知り合ったお年寄りへの聞き取りの準備をする。 ・先方の都合を尋ね、会う約束をする方法を練習する。	情	・簡単なメモを見ながら。ていねいな言葉遣いで、必要な要件を落とさずに話すことができる。	・話す内容を文章で書かせる。慣れに応じて文章を削り、見やすいメモに書き直させる。	事前に、聞き取りに応じてくださる方から承諾を得ておく。

1 1	活動・体験する	休み時間	グループで、先方に電話で連絡をとる。(都合を聞く) ・グループの代表が話す。 ・来校していただくか、こちらから伺うか、そのまま電話取材するかは、先方の意向に応じる。				
		1 9 2 0	お招きする方への招待状(伺う場合は手紙、電話取材の場合は礼状)をパソコンで作る。 [PCスキル：ローマ字入力]	情	・小さな文字を読みにくくなっているお年よりに合わせた文字の大きさや明暗のはっきりとした色使いで自己紹介カードなどを作ることができる。	・国語で学習した手紙の書き方にそって、下書きさせておく。 ・日時，場所，目的，質問したいことなど、必要な項目を落とさないよう声をかける。	
		2 1 2 2	学校に招いたお年よりの話を聞く。	解	・言葉遣いや態度に気をつけ、進んでお年よりとかかわろうとしている。	・できるだけ多くのお年よりから聞き取りをするよう，声をかける。	
		休日	自宅近くのお年よりや家族を取材し，戦争前後の暮らしの様子も調べる。				事前に保護者へ協力を求めておく。
	まとめとる	2 3 2 4 2 5 2 6	生活用品などの移り変わりや戦争前後の暮らしについて分かったことをまとめる。	表	・図や文字の大きさを工夫して分かりやすくまとめることができる。	・調査した項目の変化を1つずつまとめさせる。	

	広 げ る	28 29	学習活動全体をふり返り、まとめをす る。(原稿用紙1~2枚程度に)	設 表	・活動全体をふり返り、知り合 ったお年よりとのかかわり 方を考え、文章にまとめるこ とができる。	・ポートフォリオで活動をふり 返り、書く内容を考えさせる。	
12		30	知り合ったお年よりへ年賀状を書く。	表	・干支や正月の風物、年頭を祝 うことばや相手の健康や長 寿を願うことばを工夫し、心 をこめて書くことができる。	・礼状への返事をいただいたこ となどを想起させ、感謝の気 持ちをこめていねいに書こ うという気持ちをもたせてい く。	